

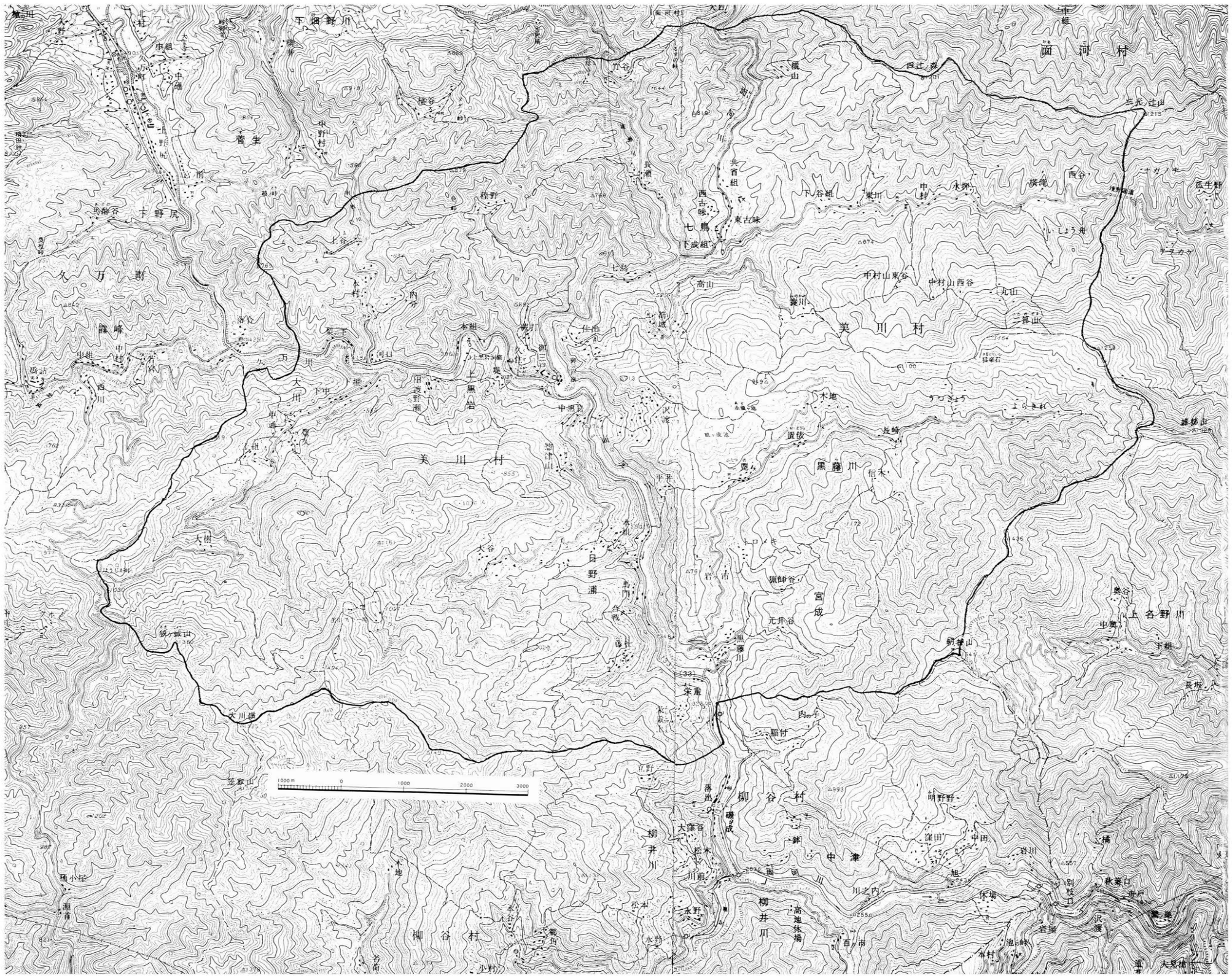
美川村三十年誌

美川村二十年誌

美川
村長

新
谷

優
書

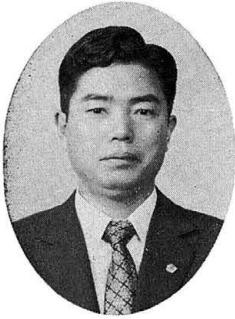




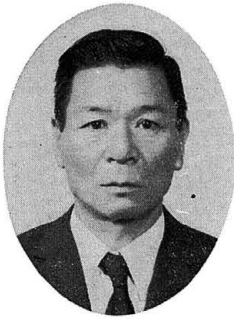
美川村庁舎付近を望む



村 長 優
新 谷



教 育 長
木 下 久 敬



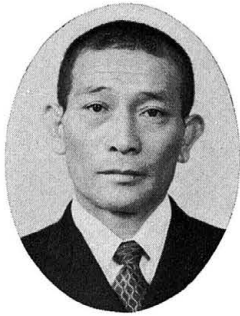
收 入 役
長 岡 道 一



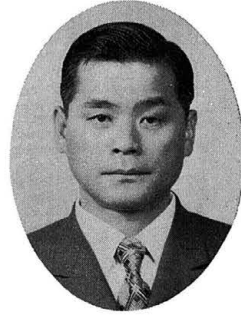
助 役
山 下 傳 三 郎



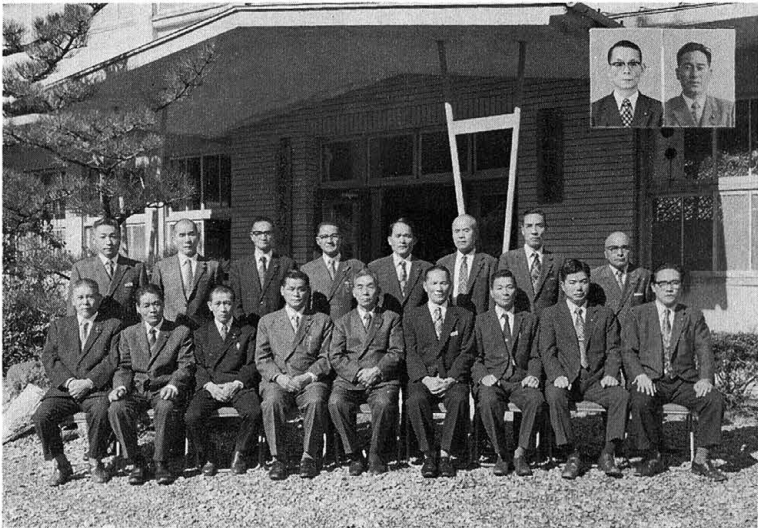
美 川 村 庁 舎



副議長
西本集



議長
村上清章



美川村議会議員



初代村長
土居通栄



初, 2代収入役
正岡悦次郎



3代助役
猪上正度



2代助役
渡部一加



初代助役
高橋末吉



6, 7代教育長
黒田英雄



2代教育長
土居衛



初代教育長
小倉貫



5代収入役
土居敏雄



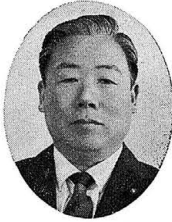
4代収入役
田野正式



執務風景



7代議長
石 元 宗 春



4代議長
寺 岡 盛 隆



3代議長
堀 尾 好 光



2,5代議長
坂 本 素 行



初代議長
城 山 元



8代副議長
露 口 薫



6代副議長
久 保 金 松



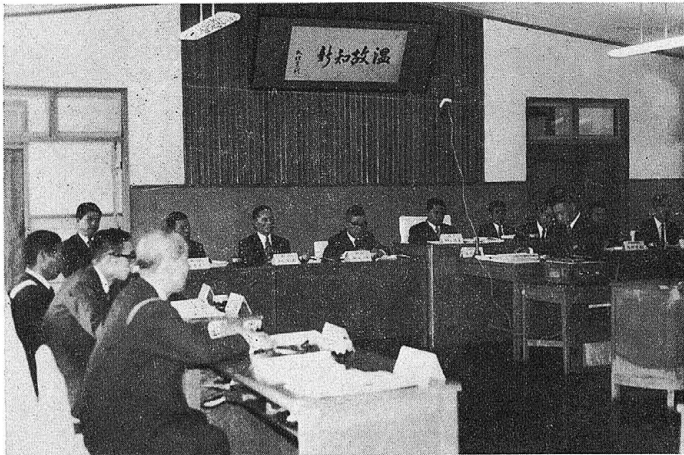
4代副議長
片 岡 傳



3代副議長
篠 崎 幸 作



8代議長
天 野 登



議 会 風 景

刊行のことば

昭和五〇年三月三〇日を以て美川村誕生二〇年となります。この良き日を迎えるに当り記念事業として「美川村二十年誌」を刊行する事となりました。

村民の方々も合併当初は旧村への愛着、新村への不安と希望、交々であったことと存じますが「和」を基調とした新村計画の実践によって、不安も一掃されて、村作りの近代化が着々と実現して参りましたことは、御同慶に堪えません。

顧みますと美川村の二〇年は国の歩みに呼応して、実に激動の歴史でありました。本誌にはその姿を部門別に詳細に記述いたしました。これと併せて旧村弘形村・仕七川村・中津村の藩政時代からの歴史をも収録しました。

この編集には村内各種の職場の方々为本務の余暇をさいて協力されました。記述の進むにつれ意外に資料の欠除する所が多く、担当者は非常な苦心を払われました。一読されました断片的で一貫性を欠ぐ面、あるいは誤謬・欠陥もあろうかと思いますが、執筆の各位の努力を諒とされ御寛恕を願いたいと存じます。こうした多少の欠点を持つとしましてもこれは美川村にとって誠に意義の深い村誌であります。

この村誌を繙く時、藩政時代より星遷り歳変り長い歴史の流れの中で、人力の及ばぬ栄枯盛衰、先人・先輩の精魂を傾けての愛村の努力の跡を探り、血と汗でつづった業績を尋ね、生活の知恵や良風・美俗をはじめ、政治経済・教育文化・福祉等に具体的に貢献された歴史的事実こそは、我々子孫への教訓であり

遺産であり、また将来への大きな指針でもあります。本誌が更に新しい創造への出発点となり、日々新しく変り行く時代に処して、よりよい歴史が我々村民の手によって立派に書き加えられる事を心から願う次第であります。

なお編集委員の皆様方の長期にわたる犠牲的御努力をはじめ、編集事務局長として御苦勞を願った土居武男氏、郷土出身の愛媛県史編纂委員伊藤義一先生の御指導と監修によって、立派な村誌の生れましたことを深く感謝申し上げます。

昭和五〇年二月

美川村長 新 谷 優

発刊にあたって

村名にふさわしい美しい「文化の里」美川村が発足して二〇年を迎えました。この間、あらゆる分野に力強く目ざましい発展を遂げて参りましたが、本年こそは更に将来に明かるい光明を与える意義深い年であると思います。もちろんこの繁栄の基礎は旧村より胎動しておりました祖先の血と汗と労苦の積み重ねた業績に負う所が大であり、祖先の辛苦をしのび苦難の歩みこそ私共の使命として忘れてならないものがあります。

此の旧村の歴史の流れを想起し、合併後の歩みを見る時、その時代の要求と社会情勢の推移とともに、これにふさわしい施策が実行されて今日を見るに至りました事は、郷土と共に生き郷土を愛する者にとつて、この上もない喜びであります。今回美川村合併二〇周年を迎え、美川村誌が発刊されます事は誠に意義深いものがあり、お祝い申し上げたいと存じます。

かえりみみずと、昭和三〇年三月三一日に弘形・仕七川・中津の二ヶ村半が合併して力強く発足し二〇年の歳月が過ぎました。その間、産業・経済・教育・文化・保健衛生・医療・消防・社会福祉等あらゆる面に亘って発展向上し、相互に調和のとれたすばらしい足跡を鮮明に示しております。このことは時々刻々移り変わる社会経済変動の中で、美川村を愛する村民が情熱とたゆまぬ努力を以て村行政に絶大な協力を惜しまなかつた功を見逃すことは出来ません。ここに今日の美川村を繁栄あらしめた村民の皆様にかから感謝申し上げたいと存じます。また村誌の編集に当り資料の収集やまとめのため職務のかたわら日夜大

変なお骨折をいただいた諸先生方、地味で目立たぬ苦勞を重ねながら企画・編集・校正等、完成へと導いて下さった関係の皆様から深甚なる謝意と敬意を表したいと存じます。

この村誌が、明日から更に明るい住みよい村づくりに指針を与えてくれますことを信じ、美川村の益々發展を祈念致しまして村誌発刊の言葉と致します。

昭和五〇年二月

美川村議會議長 村上清章

編集顧問として

美川村二十年誌をつくる話が具体化しているので手伝ってほしい——と新谷村長からお話を受けた。第二の人生を歩み出しているとはいえ私には学校という本務があるうえ、愛媛県編年史一〇巻の編纂も大詰に來ており他に二、三執筆中のものもあって、かなり忙がしい。しかし郷里の恩にいくらかでも報いる機会を与えていただいたことは、この上もない喜びである。出来る限りお手伝いすることを約し、編集委員である役場吏員の方、小・中学校の先生方に集まっていただき私の原案を示してご検討を願ひ、執筆を分担していただいた。こうして出来上ったものは編集事務局長土居武男氏の所で整理された。私は土居氏と共に一通り原稿を見た上で一貫した統一ある村誌とするため、各執筆者の重複の部分を削り、多少の文章・字句の修正をさせていただいた。

通覽して私は今さらのように役場事務が多岐にわたり吏員各位の多忙であることに驚いた。それはかつての役場事務等と同日の論ではない。それとこの二〇年間に新村が行ない、現に行ないつゝある事業の成果に目をみはった。激しい過疎現象の中にあつて村行政がいかに腐心し、その中に踏み留まつて村民がいかに苦勞努力しているかをまざまざと見、特に次代を荷う青年諸君が涙ぐましい苦心研究をしている姿に頭の下る思いがした。

本書には新村二〇年の足跡が、それぞれの担当者によって活き活きと描き出されている。それは表現の巧拙などを越えた、日本經濟の高度成長の中を生き抜く山村の力強い現代史である。

私としては短期間ではあったが村民の一人となり、土居事務局長をお助けして全巻にわたり関与させていたゞき、よい思い出となった。その間、新谷村長・山下助役・長岡収入役はじめ吏員各位が私に寄せられたご厚意に深くお礼を申し上げたい。特に土居武男氏の温いお心遣いは忘れられない。この書が今後の村政に役立ち、村民生活の指針となり村の発展に寄与することを確信して、ご挨拶としたい。

昭和五〇年二月

愛媛県史編纂委員 伊 藤 義 一

目次

刊行のことば	美川村長 新谷 優
発刊にあたって	美川村議会議長 村上 清章
編集顧問として	愛媛県史編纂委員 伊藤 義一

第一部 美川村の歩み

第一篇 美川村の環境	一
第一章 自然	三
第二章 人文	一〇
第二篇 美川村の誕生	一三
第一章 明治以来の県内の動き	一五
第二章 美川村の生れるまで	二四
第三篇 財政	四三

第一章	行 政	四五
第二章	財 政	五七
第四篇	産 業 経 済	八五
第一章	産業の動向	八七
第二章	農 業	九一
第三章	林 業	一五五
第四章	商 工 業	一七六
第五篇	土 木 ・ 交 通 ・ 国 土 調 査	一八三
第一章	土 木	一八五
第二章	交 通	一九六
第三章	国 土 調 査	一九九
第六篇	通 信 ・ 生 活 向 上 ・ 町 村 計 画	二一七
第一章	通 信	二一九
第二章	生 活 向 上	二二四
第三章	町 村 計 画	二三六
第七篇	教 育 ・ 文 化	二二九
第一章	教 育 委 員 会	二三一

第二章	学校教育	二三五
第三章	社会教育	二六六
第四章	文化	二八七
第八篇	福祉厚生・保健衛生	二九五
第一章	福祉厚生	二九七
第二章	保健衛生	三一五
第九篇	治安と消防	三三三
第一章	治安	三三五
第二章	消防	三四〇
第一〇篇	信仰と社寺	三四五
第一章	信仰	三四七
第二章	神社・仏閣	三五四
第一篇	観光	三六五
第一章	美川の風光	三六七
第二章	名勝・旧跡	三六八
第一二篇	美川村二〇年の回顧	三七五
合併前後の思い出	初代村長 土居通栄	三七七

過去一六年を顧みて……………村長新谷優……………三八二

歴代村長・助役・収入役・村議会議長副議長・議員・役場職員……………三八六

第二部 旧村の沿革

第一篇 久万山の歴史……………三九七

第一章 岩陰遺跡……………三九九

第二章 古代の久万山……………四〇二

第三章 中世の久万山……………四〇八

第四章 藩政時代の久万山……………四一三

第一篇 弘形村……………四三九

第一章 自然……………四四一

第二章 歴史……………四四三

第三章 産業……………四六〇

第四章 教育……………四六二

第五章 交通・通信……………四七四

第六章 治安と消防……………四七八

第七章 民 俗……………四八一

第八章 伝 説……………四八六

第九章 村につくした人々……………四九一

歴代村長・助役・収入役・村議会議員……………四九八

第三篇 仕 七 川 村……………五〇五

第一章 自 然……………五〇七

第二章 歴 史……………五〇八

第三章 産 業……………五二八

第四章 教 育……………五三〇

第五章 交 通・通 信……………五三七

第六章 治安と消防……………五四三

第七章 民 俗……………五四七

第八章 村につくした人々……………五五三

歴代村長・助役・収入役・村議会議員……………五五九

第四篇 中津村……………五六七

第一章 自然……………五六九

第二章 歴史……………五七〇

第三章 産業・経済……………五七七

第四章 教育……………五八二

第五章 交通・通信……………五九〇

第六章 治安と消防……………五九六

第七章 民俗……………五九八

第八章 伝説と旧跡……………六〇五

第九章 村につくした人々……………六一〇

歴代村長・助役・収入役・村議会議員……………六一四

美川村誌 史表……………六二一

美川村二十年誌編集委員名簿……………六三八

あとがき……………美川村助役 山下 傳三郎